

ハードルをあげずに行うオンライン授業

ビデオ会議を利用したオンライン授業を
少人数授業で行う場合

立教大学 経営学部 教授
中原 淳



ミニプレゼンをききながら思ったことは、
ご自由に「チャットボックス」に書いていってください！
今日は、皆さんで、体験しながら「オンライン授業」を学びましょう！

この資料の配付・引用はご自由になさってください。その際は下記の出典明示をお願いします。許諾は必要ありません
出典：中原淳（2020）ハードルをあげずに行うオンライン授業. 立教大学経営学部勉強会資料. <http://www.nakahara-lab.net/blog/archive/11472>



立教大学大学院 経営学研究科 リーダーシップ開発コース
4月4日からオンライン授業、無事スタートできました！
<https://ldc.rikkyo.ac.jp/>

19名の受講生が無事授業開始・・・山口学部長のお言葉
「考えることをとめない・学びをとめない」

リーダーシップ開発コース新入生の皆様へ（山口和範学部長のご挨拶）
<https://ldc.rikkyo.ac.jp/news/2020/0401/>



当初・・・教職員で、試行錯誤して、いろいろと考えました
専門の撮影部隊をつかって、先生はいつもどおり授業を行い、撮影する・・・

しかし・・・いわゆる「ロックダウン(都市封鎖)」などが起こった場合、
撮影部隊は来ることができない・・・

教員、職員、スタッフが「自宅」から授業を行う方法はないか

個人的に、「腹をくくった」のは、京都大学・山中先生のお言葉・・・

HOME

新型コロナウイルスとは

5つの提言

世界の対応

証拠（エビデンス）の強さによる情報分類

専門家、書籍から学ぶ

科学論文で学ぶ

データから学ぶ

報道から学ぶ

動画で学ぶ

新型コロナウイルスとの闘いは短距離走ではありません。1年は続く可能性のある長いマラソンです。日本は2月末の安倍首相の号令により多くの国に先駆けてスタートダッシュを切りました。しかし最近、急速にペースダウンしています。ウイルスに打ち克つためには、もう一度、ペースを上げる必要があります。国民の賢い判断と行動が求められています。人が一致団結して行動すれば、ウイルスは勢いを弱めます。この情報発信が、皆様の判断や行動基準として少しでも役立つことを願っています。

新型コロナウイルスとの闘いは
「短距離走」ではなく「マラソン」です

教師が、1年、「学び」を放棄していいのか
教師が、1年、「学び」をあきらめていいのか？



もともと・・・オンデマンド型授業を模索することは
リーダーシップ開発コースの視野にはいていた

ならば「世界でトップクラスの、人材開発・組織開発を学べる
オンラインの最先端のコース」を舵を切るか・・・

しかし・・・大きな問題が・・・

中原も、石川淳先生も、藤澤広美先生も、ZOOMで講義したことはない・・・ほぼ初心者・・・会議で使ったくらい

突然質問です！ が進行中 00:00:08

出席者が現在質問を表示しています 0 of 0 (0%) voted

1. みなさまの、これまでのZOOMの習熟度を教えてください！
(複数選択)

ZOOMを使って、講義が問題なくできる	(0/0) 0%
ZOOMを使って、何とかか講義ができるような気がする	(0/0) 0%
ZOOMを使って、会議に参加できる	(0/0) 0%
ZOOMをされるのは、今日がはじめて	(0/0) 0%

皆さんで、投票してみましよう！

僕たちは、1ヶ月ほど、試行錯誤して、経験から学ぶしかなかった
その経験のなかで、もっとも重要なことをお話しします！

小難しく考えない
ハードルをあげずに無理なくできることだけやる
なぜなら・・・



僕らは「オンライン授業マニア」
になりたいわけじゃない

「自分の授業」がしたいだけ

IT用語は聞きたくない
専門用語は聞きたくない
横文字もなるべく聞きたくない

ハードルを無駄にあげても意味がない



この2つに絞って「乗り越えたい」！

①学生の「集中力」がもたない

②沈黙が怖い＝無観客授業



オンライン授業は・・・

- ①学生の「集中力」がもたない＝「昼食後の眠気が常態化」
- ②教師としては、向かってしゃべると「沈黙が怖い」＝無観客授業

誰でもできる、たったひとつの「作戦」 からはじめよう！



学生の「リアクション」をひきだす！

リアクションをひきだせば、学生の「集中力」がもつかもしれないかも
学生からのリアクションがあれば、沈黙のなかでPCにしゃべるのは「怖くない」かも

「5つの小技」だけでいい！

- ①投票機能をつかう（これはさっきやった！）
- ②チャットに思ったこと、疑問を書いてもらってひろう
- ③ビデオ映像でのジェスチャーをしてもらう
- ④マイクミュートを解除して、突然指名する
- ⑤ブレイクアウトセッション（小部屋ディスカッション）をする

②チャットの意見をひろう！

田中大介

チャット

先生のいっている組織社会化って
内定式もはいるの？

見田あかり

内定式は予期的社会化じゃないの？

須田幸司

わかんない

三木隆

おわっ、大介ととりあげられた

見田あかり

すごい・・・8888888888

須田幸司

8888888888888888888888888888

宛先： 皆様

ここにメッセージを入力します...



先生の授業を「インタラプト」する
のは気が引けるけど、思ったことや
考えたことを、書いてもらう

そういう発言をひろう



ひろって授業をインタラクティブに
するので、突然、指名するよりも
よい感じになる

**いいことがあったら
みんなで「888888(拍手)」も有効
教室のルールを決める**

誰でもできる、たったひとつの「作戦」
からはじめよう！



学生の「リアクション」をうながす！

リアクションをひきだせば、学生の「集中力」がもつかもされないかも
学生からのリアクションがあれば、沈黙のなかでPCにしゃべるのは「怖くない」かも

「5つの小技」だけでいい！

- ①投票機能をつかう（これはさっきやった！）
- ②チャットに思ったこと、疑問を書いてもらってひろう
- ③ビデオ映像でのジェスチャーをしてもらう
- ④マイクミュートを解除して、突然指名する
- ⑤ブレイクアウトセッション（小部屋ディスカッション）をする

たまにはビデオ越しで
学生に「身体」を使って表現させることも面白い



みなで、やってみましょう！

問題・・・リーダーシップ開発コースのうち
学部時代に文系出身者は6割である
○か×か？

誰でもできる、たったひとつの「作戦」
からはじめよう！



学生の「リアクション」をひきだす！

リアクションをひきだせば、学生の「集中力」がもつかもしれないかも
学生からのリアクションがあれば、沈黙のなかでPCにしゃべるのは「怖くない」かも

「5つの小技」だけでいい！

- ①投票機能をつかう（これはさっきやった！）
- ②チャットに思ったこと、疑問を書いてもらってひろう
- ③ビデオ映像でのジェスチャーをしてもらう
- ④マイクミュートを解除して、突然指名する
- ⑤ブレイクアウトセッション（小部屋ディスカッション）をする

実はこれを考えたのは中原ゼミの学生たち！

学びのおすそ分け 企画を運営したから見えた
伝えたい『財産』

【財産POINT③ 緊張感を作り出せ！】

全体が一同に集まる際には、気持ちが高揚しがち
そんな時に有効なのが
『突然ミュート解除』

各コンテンツ終了後に
ホストがランダムでミュートを解除し感想を求める
これにより
『緊張感』
を持たせることができます。



まったくしゃべれない学生だと厳しい
緊張感をもたせるにはよい・・・ただあんまり多用しない
やってみましょう・・・

誰でもできる、たったひとつの「作戦」
からはじめよう！



学生の「リアクション」をひきだす！

リアクションをひきだせば、学生の「集中力」がもつかもしいないかも
学生からのリアクションがあれば、沈黙のなかでPCにしゃべるのは「怖くない」かも

「5つの小技」だけでいい！

- ①投票機能をつかう（これはさっきやった！）
- ②チャットに思ったこと、疑問を書いてもらってひろう
- ③ビデオ映像でのジェスチャーをしてもらう
- ④マイクミュートを解除して、突然指名する
- ⑤ブレークアウトセッション（小部屋ディスカッション）をする

パワフルだけど、やり方がまずいと 「沈黙お見合い」を生み出す 中原ゼミの学生たちが蓄積した経験値！

学びのおすそ分け

企画を運営したから見えた
伝えたい『財産』

【財産POINT② コミュニケーションを管理しろ！】

オンラインにおける大人数でのコミュニケーションは、まじで無理。

大事なのは

『少人数（10人以下）の時間』

しかし、

準備が甘いと発生するのが

誰が、何をして、何を目指すのか分からない

『お見合い』状態

ポイントは「少人数グループ」に分かれる前の「指示」にある！

学びのおすそ分け

企画を運営したから見えた
伝えたい『財産』

【財産POINT② コミュニケーションを管理しろ！】

お見合い状態を回避するには、

『インストラクション』

1. 誰がファシリで
2. どういう順番で
3. 何について話し合い
4. 何をアウトプットとするのか

これを必ず決めておくこと。



事例：少人数に分かれてディスカッション

時間はおひとり1分だけしゃべってください
全体では6分あります

①お名前

②今日のレクチャーで、何か「気づき」はありましたか？

誕生日が1月に近い方が「司会者」
1月にその次に近い方が「タイムキーパー」
(さっと決めましょう)

7分たったら戻ってきます

時間があまったら、外出自粛でどんな生活を最近しているか、話合ってみましょう

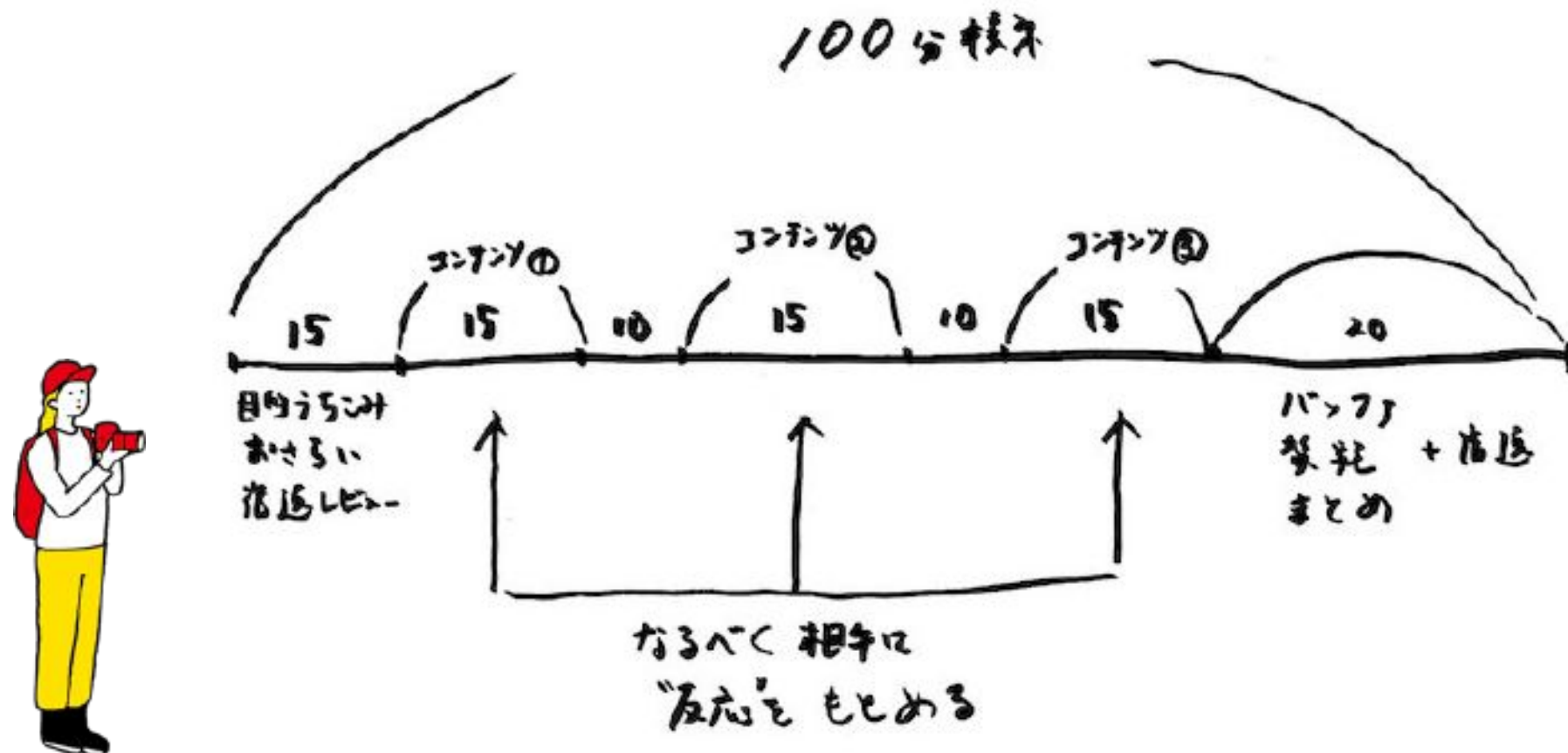
**ブレークアウトしたあとは、声かけできない
インストラクションはなるべく具体的に！**



最後に・・・

学生の「リアクション」をひきだす！、ならば・・・

こんな授業の設計(目安)はどうだろう？: 授業を「15分でモジュール化」する



メインディッシュは7割

リアクション重視なので、バッファの時間をもうける

まとめ



NAKAHARA-LAB.net

まとめ

■大切なことはたった1つだけ

初心者のわたしたちには、そんなにたくさん言われても無理・・・**小難しく考えないで、ひとつのことをやってみる**

学生のリアクションをうながす

- ・ハードルをさげて、試行錯誤していきませんか？
- ・教科、科目によって教え方があるでしょう！
- ・皆さんで経験学習しながら、この難局を乗り越えませんか？

■本当にこころの底で望んでいるのは

- ・「オンライン授業」ではない
- ・学生と出会い、直接や議論をして、探究したい
その日がくるまで、頑張りましょう

■ちなみに・・・

- ・間違っても、僕を「FD研修会」の講師に呼ばないでください（笑）
- ・これは「僕の研究」ではありません
- ・僕は自分の授業がしたい、学生とともに探究したいだけ
- ・これは「僕の試行錯誤＝学びのおすそわけ」です！



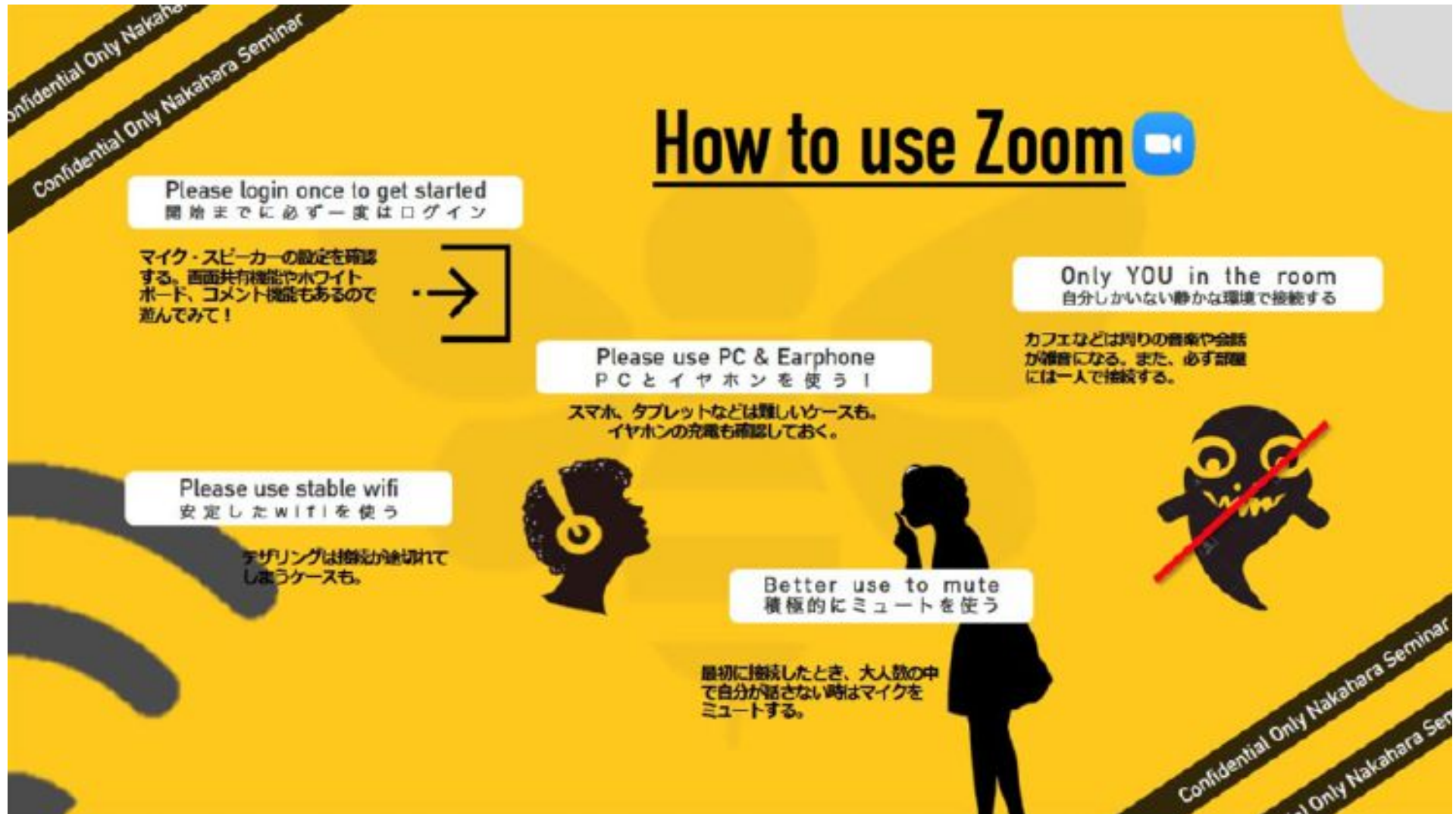


—ここからは「おまけ」—

そのほか重要なこと

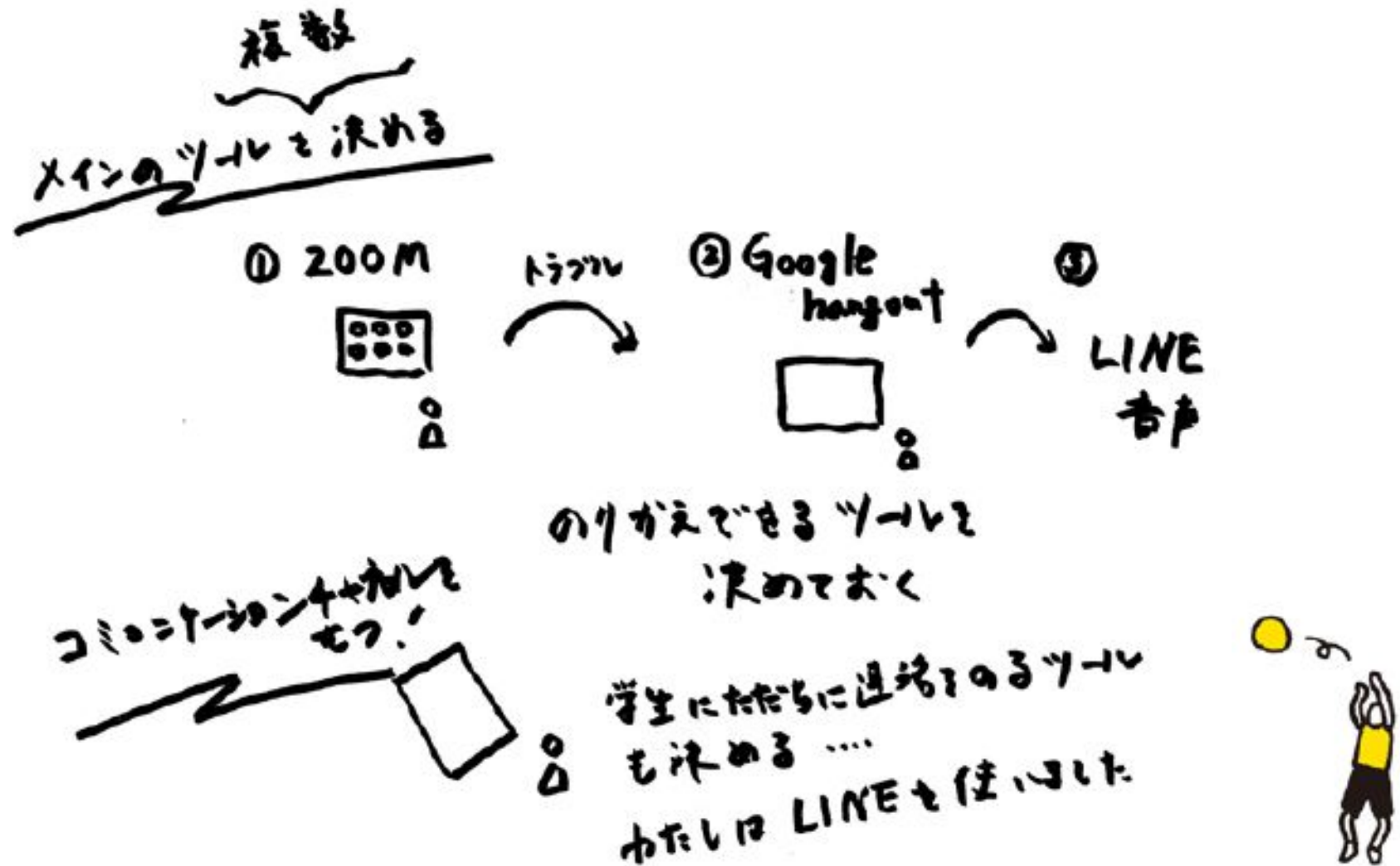
①授業の前のセットアップで勝負が決まる 学生には下記を伝えたい！

出典：立教大学経営学部 柴井怜太作成



学生の情報環境の格差は今後大きな課題
国、大学からの支援が必要

②トラブル時の乗り換えツールと コミュニケーションチャネルを用意しておく



オンライン教育は「何が起こるか、わからない」
備えあれば、憂いなし！

③いつもよりもテンションを1.5倍盛って話す！



メディア越したと、それでも普通に聞こえる
1.5倍盛って、普通盛

わたしの試行錯誤のプロセス（関連記事）

祝！オンラインでの授業、無事スタートできました！

経験学習でつかんだ「オンライン授業10か条」!?

<http://www.nakahara-lab.net/blog/archive/11463>

「授業のオンライン化」とは、オンライン用に「もうひとつ別の授業」をつくることである!?

<http://www.nakahara-lab.net/blog/archive/11444>

オンライン授業を楽しくするための「たったひとつの工夫」!?: アクティブティーチングのすすめ!?

<http://www.nakahara-lab.net/blog/archive/11405>

オンラインゼミ・チームビルディングの企画・運営マニュアルができました！: どなたでも無料でダウンロードいただけます！

<http://www.nakahara-lab.net/blog/archive/11415>

オンラインでのグループワークを活性化させる「問い」と「手続き」と「アウトプット」!?

<http://www.nakahara-lab.net/blog/archive/11429>

オンラインのチームワークは「持ち寄りパーティ」である?!: テレワークは「何にも考えていない個人」を「見える化」してしまう!?

<http://www.nakahara-lab.net/blog/archive/11395>



やってみると、**意外に楽しい**
ぜひ楽しんでオンライン授業に挑戦しましょう！

完

